

# 立命館大学 北海道校友会

## 設立70周年記念式典 記念講演・記念交流会

日時 2024年6月29日(土) 16時～20時

会場 ANAクラウンプラザホテル札幌 3階 鳳・祥雲  
札幌市中央区北3条西1丁目2番地9

主催 立命館大学北海道校友会





立命館史資料センターホームページより

立命館大学校歌は、1931(昭和6)年9月の『立命館学誌』第145号に、「立命館大学校歌成る」の記事とともに歌詞が掲載されました。依頼していた近衛秀麿子爵から7月17日に校歌が送付されて来たことが同号に記されています。

1950(昭和25)年、立命館は創立50周年を迎え、記念事業の一つとして校歌のレコードが作製されました。立命館大学合唱団と立命館大学軽音楽部の演奏により、帝蓄(テイチク)で吹き込みが行われました。「あかき血潮」が「若き血汐」に、「眞理(まこと)」が「誠」に、「明命」が「命名」に変わるなど、いくつか歌詞の変更が見られます。

戦後、歌詞の字句が種々使われるようになったため、1976(昭和51)年1月に統一されました。このときの歌詞が現在も引き継がれています。

『立命館学誌』第145号 1931年(昭和6年)

立命館大学校歌

作詩：明本京静 作曲：近衛秀麿

あかき血潮 胸にみちて  
 若人眞理の 泉を汲みつ  
 仰げば比叡 千古のみどり  
 ふす目に清しや 鴨の流れの  
 かみもたふとし 天の明命  
 見よわが母校 立命 立命

『1950年度学生手帳』1950年(昭和25年)

立命館大学校歌

作詩：明本京静 作曲：近衛秀麿

若き血汐 胸に満ちて  
 若人誠の 泉を汲みつ  
 仰げば比叡 千古の緑  
 ふす眼に清しや 加茂の流れの  
 鏡もとうとし 天の命名  
 見よ我が母校 立命 立命

あかき血潮 胸に満ちて  
 若人 眞理の泉を汲みつ  
 仰げば比叡 千古のみどり  
 伏す目に清しや 鴨の流れの  
 かがみもとうとし 天の明命  
 見よ わが母校  
 立命 立命



スマホで右のコードを読み込み、画面上にコードを維持すると「R」の立体マークが表示され、校歌の再生ができます。機種によって各種センサーへの許可ダイアログが出る場合があります。(期間限定)





# Memories and future of Ritsumeikan

1961年(昭和36年)  
広小路キャンパス付近



1987年(昭和62年)  
衣笠キャンパス付近



2008年(平成20年) びわこ・くさつキャンパス付近



2020年(令和2年) 朱雀キャンパス付近



2021年(令和3年) 大阪いばらきキャンパス付近

各空中写真 出典：国土地理院 Web サイト

## 目次

### ご挨拶

立命館大学北海道校友会 会長 城戸 寛 1

### 祝辞

立命館大学校友会 会長 門川 大作 2

学校法人立命館 理事長 森島 朋三 3

立命館慶祥中学校・高等学校 校長 菊地 賢司 4

田中学園立命館慶祥小学校 校長 吉田 恒 5

立命館大学建設会北海道支部 支部長 浅利 修一 6

札幌市役所 比叡会 会長 影山 雄一 7

立命館慶祥会 会長 大越 高 8

記念式典・記念講演・記念交流会 次第 9

記念表彰 10

記念講演 「未来ある子どもたちの夢、  
そして挑戦を支える教育を目指して。」  
学校法人田中学園 理事長 田中 賢介 11

北海道校友会 歴代会長一覧・  
北海道校友会 総会開催一覧 12

令和6年度立命館大学北海道校友会  
役員名簿・協賛一覧など 13

協賛広告 15

巻末：北海道校友会会則／立命館大学応援歌・寮歌



## ご挨拶

## 設立70周年を迎えて

立命館大学北海道校友会 会長 城戸 寛



立命館大学北海道校友会は、1954(昭和29)年に校友会北海道地区として発足し、これまで多くの諸先輩の皆様が校友会活動を繋いでこられ、本年、2024(令和6)年に記念すべき70周年を迎えました。

昨春、当会役員会に「設立70周年記念事業開催準備委員会」を設置し、記念式典及び記念講演を企画しましたところ、立命館大学校友会事務局、北海道・東北ブロック校友会の皆様、立命館慶祥中学校・高等学校、そして、田中学園立命館慶祥小学校はじめ、多くの北海道在住校友の皆様のご理解ご協力を賜るとともに、関係するご来賓の皆様、そして校友の皆様のご参加をいただき、本記念事業を開催できましたことを深甚より感謝申し上げます。

校友会北海道地区は、渋谷勝康氏のご尽力により北海道樺戸郡月形町月形高校内にて発足し、翌年に会則を制定、1959(昭和34)年には初代支部長白井栄一氏のもと体制を組織し、校友会支部への参入を果たしています。その後、着実に校友会活動を積み重ね、1972(昭和47)年には、十勝、根釧地区に東北北海道支部が発足し、現行の枠組みとなりました。

2005(平成17)年には、第50回記念総会を開催、2015(平成27)年、第60回記念総会が開催されてまいりました。関係者の皆様のご支援と歴代の支部長、会長、役員の皆様、そして校友の皆様のご努力に対してあらためて敬意と感謝を表する次第であります。

現在、北海道内各地には、3,000名に及ぶ校友会会員の皆様が生きておられ、当会からのご案内や情報発信などにあたっては、ホームページやSNSなどの活用にも努めているところではありますが、遺憾ながら多くの皆様のお手元まで届いていないのが現状です。

そこで、本記念事業のご案内については、できるだけ多くの校友の皆様のもとに分かり易い情報が届くよう、校友会事務局のご理解ご協力をいただき、デザインにも工夫を凝らした案内チラシを作成、校友会報「りつめい」に同封していただくとともに、当会としては初めて、一斉メール配信を実施するなどの新たな手法も取り入れました。

3年余り続いたコロナ禍により、当会活動も停滞を余儀なくされてまいりましたが、この機会を北海道におけるオール立命の親睦・交流のリスタートの契機として、2019(令和元)年に校友会設立100周年にあたり策定された「校友会活動ビジョン」にもとづき、北海道における「立命のきずな」を紡いでまいる所存でございます。引き続き、関係者の皆様、校友の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、本記念事業の開催及び記念誌の発行にあたり、格別のご支援ご協力をお寄せ下さった多くの皆様、協賛広告を賜りました各企業・団体・個人の皆様、そして、企画、運営、準備にご尽力をいただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。設立70周年を迎えてのご挨拶といたします。

## 祝辞

## 北海道校友会の70周年をお祝いして

立命館大学校友会 会長 門川 大作



北海道校友会の設立70周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

100年前、大学令により立命館が「大学」へと昇格するか、「専門学校」に留まるかの岐路に立たされた時、母校の発展と自らの未来とを重ねた先輩たちは全国各地で活動する卒業生を束ねて校友会を組織し、すすんで大学昇格のための基金集めに奔走しました。この時に全国校友会が誕生したといわれています。この先輩たちの情熱がなければ、現在の校友会の姿はなかったかもしれません。

現在、立命館大学の校友は40万人を超え、国内外問わず幅広い分野で活躍しています。母校のために立ち上がった先輩たちの切実な想いを今に引き継ぎ、後輩たちの輝かしい未来を今後も応援していくこと、そして、次の100年を見据え、持続可能性を高め、社会にも貢献できる校友会となるため、新たな仕組みや新たな活動を生み出す姿勢でチャレンジしてまいります。

北海道校友会におかれても、1954年の設立から70年もの長きにわたり、先輩たちの熱い想いを引き継ぎ、歴代の会長が中心となり積極的な校友会活動を続けられてこられました。これからも校友同士が世代を越え交流し、互いの活躍を励まし合い、そして母校の発展に貢献する校友会活動をなされること、そして社会に貢献する校友会として新たなチャレンジをされることを期待しております。その校友のご活躍は、母校にとっての誇りであるとともに、後輩学生にとっても希望となるはずで、後輩たちの未来に向けて貢献すべく、私たち校友は学園と相互に連携を深め、共にさらなる発展を目指してまいりましょう。

最後に、立命館大学北海道校友会がこれからもますます繁栄し、校友の皆様が健康で幸せな日々を過ごされることを心より祈念いたしまして、お祝いの言葉を申し上げます。



## 北海道校友会設立70周年を記念して

学校法人立命館 理事長 森島 朋三



立命館大学北海道校友会の設立70周年を心よりお祝い申し上げます。国内外の大学に目を向けますと、トップレベルの大学には必ずと言ってよいほど、活発で熱量のある校友会があります。立命館には、全国各地、海外にも校友会があり、それぞれが高い志と熱意によって活動をされています。とりわけ北海道校友会では、70年という長きにわたり校友会の発展だけでなく、学園の発展にご尽力賜りましたこと心より感謝申し上げます。

現代のグローバル社会は大きな変動の時期を迎えており、世界では多くの解決すべき課題が山積しています。このような時代に求められるのは、グローバルに捉える力、かつ多様性に富んだ発想を持つ人材ではないでしょうか。そのような人材を育成するには、外国人留学生を含む多様性に溢れた学生が集う環境が必要であると考えます。立命館はそのような学びの場を早くから重視し、私立総合学園だからこそ実現できる教育・研究環境の形成に努めてまいりました。これまでの歴史に学びつつも、常に新たな教育に挑み、社会にインパクトを与える研究活動に挑戦し続けてまいります。

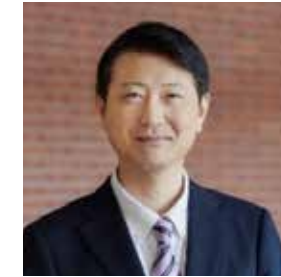
立命館学園は、北海道における取り組みとして、立命館慶祥中学校・高等学校を設置し、日本国内だけでなく、世界を舞台に活躍できる人材の育成に力を入れてまいりました。そして新たに2020年9月に学校法人田中学園と連携協定を結び、田中学園立命館慶祥小学校とこれまで札幌には無かった初等教育から中等教育への小中高一貫教育を本格的に展開しております。立命館学園で学んだ学生・生徒・児童が国際的に活躍できる人材となるよう大学、附属校、提携校がしっかりと手を携えてまいります。

歴史を振り返ってみますと、大学令にもとづき、立命館が大学昇格する際も後押しして下さったのは校友の皆様です。これからも時代の変化を積極的に捉え、チャレンジしてまいり所存です。ともに立命館の未来を創り上げるため、これまで以上に校友の皆様のご支援をお願い申し上げます。

最後に、立命館大学北海道校友会がこれからもますます繁栄し、校友の皆様がご活躍、ご隆盛されますことを心より祈念いたします。

## 立命館大学北海道校友会設立70周年に際して

立命館慶祥中学校・高等学校 校長 菊地 賢司



この度は、立命館大学北海道校友会設立70周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

1955年12月に貴会が設立され、現在では道内に約2600名にも及ぶ会員がいらっしゃる伺いました。昨春、新型コロナウイルス感染症も5類となり、やっと日常が戻ってきました。ウイルスのまん延により、それまで当たり前だと思っていたことが、そうではなく、実は素晴らしい貴重なことなのだ改めて実感されたのではないのでしょうか。対面での会合もそのひとつです。直接お話しできることで、より一層深く感じられる連帯感や感動があります。6月の記念事業では皆様と周年の節目をお祝いし、会員の皆様の学生時代の懐かしいお話や卒業後のご活躍などについて直接お伺いできることを楽しみにしております。

毎年300名以上が立命館慶祥高校を卒業、その約半数が立命館大学・立命館アジア太平洋大学に学内進学し、社会人になった後、日本そして世界を舞台に活躍しております。また、本校の卒業生は、進学のため一度は北海道を離れますが、少なからず北海道にUターン就職をしてくれています。校長としましてもこのような若いメンバーが貴会に参加してくれるよう継続して呼び掛けてまいります。

さて、貴会には遠く及びませんが、立命館慶祥も2025年に開校30周年を迎えます。近年は、学習のみならず部活動でも目覚ましい活躍をしている生徒が多くいます。2022年度には高校ラグビー部が憧れの花園へ初出場。熱いご応援をいただきました。2023年度には、高校陸上部男子4×100mリレーでインターハイ準優勝、高校将棋部女子も団体戦で全国準優勝の結果を残しました。

一方、本校は進学校の一面もあり、難関大学への進学実績も躍進してきております。2022年度卒業生は、ハーバード大学合格を始め、東京大学現役合格者数12名、医学部医学科53名合格、立命館大学・APUに166名合格。2023年度は、京都大学現役合格者7名、医学部医学科42名、King's College Londonを始め海外大学に8名、立命館大学・APUに159名の合格者を輩出しました。また、研究面においても2024年4月には、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)にも第Ⅲ期目として認定されました。その初年度の取り組みとして、トルコ・オーストラリア・インドネシアの3高校と姉妹校協定を締結することが決まっております。本校は開校以来「世界に通用する18歳」をテーマに人材の育成をしており、海外の高校生と共に研究し、討議できる人材を育むため、今後も海外校とのさらなる連携を推進し、世界の第一線で活躍できる人材を継続して輩出していく所存です。そのような優れた卒業生が貴会に参加してくれる日を楽しみにしております。

末筆ではございますが、立命館大学北海道校友会のさらなる発展と、会員の皆様の今後益々のご健勝ご活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。今後とも立命館慶祥中学校・高等学校へのご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 立命館大学北海道校友会設立70周年に寄せて

田中学園立命館慶祥小学校 校長 吉田 恒



立命館大学北海道校友会におかれましては、発足から70周年をむかえられましたこと、誠に  
おめでとうございます。北海道におけるオール立命の中心的な存在として、また、長きにわたり  
卒業生の心の拠りどころとして活動をし続け、なお発展されている北海道校友会に、心からの  
敬意と感謝をしております。このような思いを深く持ちますのも、私自身が立命館大学言語情  
報研究科の卒業生でもあり、また、立命館慶祥中学・高等学校での勤務が今年で20年を迎え、年  
明けには学校法人立命館より永年勤続表彰をしていただきました。そのようなタイミングで、  
北海道校友会の70周年の記念誌に祝辞を書かせていただけることは存外の喜びであります。

現在私が校長を務めさせていただいている田中学園立命館慶祥小学校は、元日本ハムファイ  
ターズ田中賢介氏が理事長を務め、本格的な規模としては北海道で初となる私立小学校です。  
2023年4月に学校法人立命館と提携協定を結び、立命館慶祥中学・高等学校に特別推薦制度も有  
しています。「自由と清新」を建学の精神に据える学校法人立命館、その附属校としての立命館  
慶祥中学・高等学校は、教育方針・理念を「世界に通用する18歳」とし、他の私学の追随を許さな  
い国際教育・理数教育を展開しています。田中学園立命館慶祥小学校は、立命館慶祥中学・高等  
学校の特別提携小学校として、グローバル教育の精神を引き継ぎ、「世界に挑戦する12歳」を育  
てるべく、道内初となるイマージョン教育を導入している小学校として2022年4月に開校。現在  
1学年から6学年が揃い、2024年度にはいよいよ卒業生が慶祥中学校へ進学します。

「私学は家族」。とりわけ「立命館」を卒業される方々の学園へ対する思いは本当に強く、本校  
を目指されるご家庭には、立命館大学の卒業生や関係者、慶祥中・高の卒業生が多くいらっしゃ  
います。これはひとえに、日本の私立大学を牽引し続ける学校法人立命館への愛校心、また、北  
海道のトップ私学中高一貫教育を展開する立命館慶祥中学校・高等学校への愛校心、そして何  
よりも立命館の輪を大切に、力強く活動し続ける北海道校友会の存在のおかげであると感じ  
ています。田中学園立命館慶祥小学校は、「北の立命館」の新たな仲間として、「未来を信じ未来  
に生きる子どもたち」を育てる教育を展開していきたいと考えています。引き続き皆さまから  
のお力添えを賜れますよう、お願い申し上げます。

末尾にあたり、立命館大学北海道校友会の益々のご発展と、校友会の皆様のご健勝を祈念い  
たしまして、70周年におけるお祝いのご挨拶とさせていただきます。

## 立命館大学北海道校友会設立70周年をお祝いして

立命館大学建設会北海道支部 支部長 浅利 修一



立命館大学北海道校友会が、記念すべき設立70周年を迎えたこと心よりお祝い申し上げます。  
諸先輩の皆様が長年に渡り紡いで来られた御努力に敬意を表すとともに心より感謝申し上げ  
ます。

立命館大学建設会北海道支部は、理工学部土木工学科の卒業生・教職員等により構成される  
立命館大学建設会の北海道在住者による組織で、1987年より活動を行ってきました。年1回の総  
会と開催年によっては、本校から土木工学関連の先生をお招きして講演会を開催しています。  
建設会の多くの皆様は、教育・研究機関、行政機関、地方自治体、鉄道・道路関係、建設コンサル  
tant、建設業、メーカー等で活躍しております。我が国・北海道の社会基盤整備に関連する仕  
事等に従事しております。廣長明夫名誉顧問、千廣隆章相談役、城戸寛会長を始め、多くの諸先  
輩が北海道校友会にてご活躍されてきました。旧世代は、京都衣笠キャンパスの六号館にて学  
びました。1994年に理工学部のびわこ・くさつキャンパスへの移転に伴い、土木工学科もBKCに  
移転しております。2004年には、土木工学科という名称から都市システム工学科に名称変更と  
なりました。我が国は、四季折々の美しい自然に恵まれる一方で地形・地質・気象等により、豪雨  
による洪水や土砂災害、地震、津波、高潮、火山噴火災害が非常に多く、災害に対して脆弱で、極  
めて厳しい自然条件下にあります。特に近年、気候変動の影響が及ぼす集中豪雨による洪水・土  
砂災害や地震による災害が頻発しています。土木の技術は、これら自然災害から人の命・暮らし  
を守り、社会・経済活動を支える基盤をつくり、良質な生活空間を実現するため、中心的な役割  
を果たしています。

私は、学生時代に男声合唱団である「立命館大学メンネルコール」に所属していました。1982  
年三回生の夏に札幌市民会館において、「小樽商科大学グリークラブ」とジョイントコンサート  
を開催しました。58名の仲間と京都からJR・敦賀からのフェリーを乗り継いで30時間かけ小樽  
まで来た懐かしい思い出があります。昨年、42年前にその演奏会に来て頂いた校友の方から、当  
時のジョイントコンサートのパンフレットを拝見する機会がありました。そのパンフレットの中  
で当時、北海道校友会の皆様のご尽力により開催が実現したとの記述がありました。北海道  
から遠い京都の学生団体が札幌で演奏会を開催するためには、北海道校友会の皆様の方から  
は開催できなかったと思います。感謝するとともに微力ながら北海道校友会に恩返しできれば  
という現在の気持ちです。

立命館大学校友会は、校友同士が世代・職業等を超えた交流を通して自己の人生を豊かにで  
きる、そんな存在であってほしいと期待致します。未来に向けて、立命館大学北海道校友会の  
益々の発展と立命館大学北海道校友会に関係するすべての皆さまのご健勝を祈念して、お祝い  
の言葉とさせていただきます。



## 立命館大学北海道校友会設立70周年を祝して

札幌市役所比叡会 会長 影山 雄一



このたび、立命館大学北海道校友会が設立70周年という記念すべき節目を迎えられることをお祝い申し上げますとともに、記念誌が発刊されることを心からお喜び申し上げます。また、これまで長きに渡り北海道校友会の発展に尽力された歴代の会長をはじめ関係の皆様にご敬意を表します。

さて、札幌市役所比叡会(以下「比叡会」という。)は、立命館大学出身の札幌市職員の会であり、北海道校友会会長の城戸寛さんは比叡会の偉大な先輩です。比叡会の会員は約50名で、現在、平成3年卒業の私が会長を務めております。このたび、恐れ多くも記念誌への寄稿の機会をいただきましたので、母校愛あふれる比叡会の活動について紹介をさせていただきます。

比叡会は、いつから「比叡会」と銘打っていたのかは定かではありませんが、昭和39年卒業の先輩が創設して以来、着々と入庁者を積み上げ、昭和50年代初頭には約20名、同50年代後半には約40名に躍進し、以降40年余り、採用や退職による増減はあるものの40~60名規模の会員数を堅持しております。現在、貴重な昭和の卒業生からフレッシュな令和の卒業生までの会員が揃っており、この層の厚さは、会長として大変誇りに思っているところです。

特に少子化の時代においても後輩が脈々と続いてくれているのは光栄なことで、控え目に言っても、北海道で立命館大学からのUターン就職がここまで定着している組織はそう多くはないと推察します。この背景には、立命館慶祥中学校・高等学校の存在が大きく、このご縁に心から感謝申し上げますとともに、今後も幅広く前途有望な後輩が入庁してくれることを心から願うばかりです。

比叡会の活動としては、年1回、懇親会を開催しており、会の冒頭には、母校の功績をたたえるセレモニーがあります。これは、会長が挨拶に先立ち、母校の国家試験など各種試験の合格者数、スポーツや文化活動の全国レベルの優勝、入賞など様々な功績を発表し、皆で喜びを分かち合う比叡会の大切な伝統です。歓談が始まると、仕事の話は皆無で、ひたすら京都の話に終始し、四条河原町にでもいるのか?と錯覚することさえあります。さすがに、近年、朱雀や大阪いばらきキャンパスの話が出てくると、衣笠で学んだ私としては隔世の感がありますが、比叡会は大学の発展を後輩から直接聞かせる貴重な場であり、また、札幌で幅広い世代が時空を超えて、京都の思い出話を共感し合い、人生や仕事への活力を得るのは素晴らしいことでもあります。今後も母校の後輩が札幌市役所に入庁し、仲間が増えることで札幌市の発展にお役に立てるのなら、こんなに嬉しいことはありません。

折しも、この春、比叡会では初代のメンバーから数えて100人目の入庁者を迎えるという、大変喜ばしいニュースが舞い込みました。これを機に、比叡会の活動を一層盛り上げ、母校の応援団としてエールを送り続けたいと思います。

結びになりますが、立命館大学北海道校友会のますますのご発展と、校友会の皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

## 立命館大学北海道校友会設立70周年を祝して

立命館慶祥会 会長 大越 高



立命館大学北海道校友会が設立70周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴会は、約100年前に、立命館大学が大学令による大学に昇格するために奔走した校友の方々が組織した全国校友会の意志をもとに、この北の大地北海道において長きに渡り多様な人材を輩出し、社会貢献をしてこられました。そして、当会との関係において特筆すべきこととして、1995年に立命館大学慶祥高等学校の設置が認可されてからは、立命館慶祥中学校高等学校を卒業した立命館慶祥会の会員の多くが立命館大学に進学し、貴会の会員となって活動していることに、貴会と当会とのつながりの深さを感じさせられる次第です。

また、貴会では、できるだけ多くの校友が立命館と再びつながることのできるよう、若手校友が積極的に参加できる新しい取り組みや、様々な方法による情報発信の取り組みなど、数多くの新しい手法に取り組みされてきたことを、当会としてもいつも学ばせていただいている次第です。

さて、当会は、1935年に札幌高等経理学校の設立に端を発した同窓会組織であり、その後、校名を札幌経済高等学校に改称し、先のとおり1995年に学校法人立命館との法人合併による立命館大学慶祥高等学校の設置認可を経て、現在の立命館慶祥中学校高等学校に至るまで、各校を卒業した会員を基盤として活動を継続し、2025年には設立90周年を迎えます。そして、これまでの間に、北海道や日本、そして世界中で、「慶祥での学び」を活かして活躍しております。

当会でも、来年、立命館慶祥会設立90周年を迎えるにあたり、記念事業を実施させていただき、様々なフィールドで活動する立命館慶祥の卒業生の様子を通して、立命館慶祥での学びがどのように生かされてきたかを明らかにするとともに、同じ学び舎で青春時代を過ごしたことだけでつながり続けることのできる同窓会のすばらしさについて情報発信できればと考えております。

貴会の70周年にあたり、貴会と当会が、建学の精神である「自由と清新」、教学理念である「平和と民主主義」を礎とする立命館の絆でつながっていることを改めて確認するとともに、当会の90周年記念事業や、今後の様々な活動において連携させていただきたく存じますので、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、立命館大学北海道校友会のますますのご発展、そして本日ご参加の皆様方のご健勝とご多幸を心より祈念しております。



## 記念式典・記念講演・記念交流会 次第

## 【記念式典】 (16:00～)

- |              |                             |                    |
|--------------|-----------------------------|--------------------|
| 1. 式辞        | 立命館大学北海道校友会 会長              | 城戸 寛               |
| 2. 立命館大学校歌斉唱 |                             |                    |
| 3. 祝辞        | 立命館大学校友会 副会長<br>学校法人立命館 副総長 | 福元 寅典 様<br>伊坂 忠夫 様 |
| 4. 来賓紹介      |                             |                    |
| 5. 祝電披露      | 立命館大学北海道校友会 副会長             | 竹中由里子              |
| 6. 表彰式       |                             |                    |
| 7. 閉会挨拶      | 立命館大学北海道校友会 副会長             | 浅利 修一              |

## 【記念講演】 (16:45～)

- 記念トークセッション:「未来ある子どもたちの夢、そして挑戦を支える教育を目指して。」
- 学校法人田中学園 理事長 田中 賢介 様
- 聞き手 吉田 恒 様 (田中学園立命館慶祥小学校 校長 / '11言語教育情報研究科卒)  
石塚 慶如 様 (田中学園立命館慶祥小学校 保護者 / '08法務研究科卒)

## 【集合写真撮影】 (17:50～)

## 【記念交流会】 (18:00～)

- |              |                                 |                    |
|--------------|---------------------------------|--------------------|
| 1. 開会挨拶      | 立命館大学北海道校友会 会長                  | 城戸 寛               |
| 2. 来賓挨拶      | 立命館大学校友会 副会長<br>立命館慶祥中・高等学校 校長  | 馬場 幸蔵 様<br>菊地 賢司 様 |
| 3. 乾杯        | 立命館大学校友会 名誉校友                   | 村上 健治 様            |
| 4. 歓談        |                                 |                    |
| 5. 会議報告等     | 北海道・東北ブロック会議開催報告                |                    |
|              | 立命館大学北海道校友会 副会長                 | 浅利 修一              |
|              | 次期開催県からのご案内<br>立命館大学山形県校友会 会長   | 角田祐喜男 様            |
|              | 校友会事務局からのご案内<br>立命館大学校友会 事務局長   | 井上 拓也 様            |
|              | 北海道校友会からのご案内<br>立命館大学北海道校友会 幹事長 | 佐藤 恭美              |
| 6. グレーター立命斉唱 |                                 |                    |
| 7. 閉会挨拶      | 立命館大学北海道校友会 幹事                  | 吉本 泰一              |

## 記念表彰

## 横山 真



## 1. 略歴

1956(昭和31)年 経済学部経営学科卒業  
1999(平成11)年～2003(平成16)年 北海道校友会役員会理事  
2005(平成17)年～2013(平成25)年 北海道校友会役員会副会長  
2010(平成22)年 11.3 叙勲 瑞宝双光章(教育功労)  
2014(平成26)年～2019(令和元)年 北海道校友会役員会顧問

## 2. 記念表彰を受賞して

立命館大学北海道校友会設立70周年を迎えること心からお祝い申し上げます。

1966年(昭和41年)札幌勤務になって同じゼミの故川口晃右君(北海道銀行勤務)が迎えてくれ、早速本校友会へ誘ってくれたのがこのつながりの始まりです。本当に嬉しくこれまで運営発展にご尽力された役員の皆様方に心から感謝申し上げます。

私は大学に入学するや創立間もないバドミントン部に誘われ、関西六大学リーグ戦に引き出され戦果には貢献はできず、専らキャプテン市村君のマネージャーを務め一生の付き合いとなりました。結果として私は地域に帰ってバドミントン人間になり北海道教職員バドミントン連盟の旗振りも務め、バドミントンあって私の今日があると言っても過言ではないのです。私は立命館大学に入学し学んだ事は、当時お元気であられた憧れの末川博先生の法学部講座に潜り込み『未来を信じ未来に生きる若者よ!』の一連の言葉に接することで90歳になる今も心の支えになっています。また、当時の経済学部経営学科祭原教授の経営学総論『企業の社会的責任』と『ヒューマンリレーション～人間関係論』が私にはユニークで目を覚まされ、私の職場は明治28年創立の函館盲学校という特別な教育環境に活かされ大変大切なものとなりました。前後しますが私の最初の就職先は京都丸物デパートの東京池袋進出要員と内定でしたが健診で取り消され、遅れて道内5校をめぐる盲学校教員となり一生の仕事になりました。

本会初代会長下村一大先輩は健康維持のためにと私の次の勤務先札幌盲学校高等部理療科臨床室の実習室患者としてよくお出でになり東洋医学『あんま鍼灸』の実習台になってくださったのです。また、私は定年退職後、先輩の配慮で豊平区役所の高齢者福祉相談員として1F相談コーナーに座ることになり、これを聞きつけた元会長の広長氏が『校友会ゴルフ』を毎月定例化して横山はその連絡幹事にと任命され、これが関西六大学対抗ゴルフ大会へと繋がり毎年『はちはち会』、『いちいち会』に近大を加えて七大学の対抗交流懇親会へと発展したのです。

昨年『はちはち会』大会は真駒内カントリークラブで小雨降る悪条件の中で行われ、団体戦優勝、個人の部シニア90歳の部で私が優勝を勝ちえたのです。それは18ホール雨に濡れながら90歳が一人167打の人生最高スコアで転倒脱落せず完走、熱き友情応援に心から感謝でした。

またまた、私は退職記念に京都東本願寺に上り剃髪得道し釈真昭となり札幌大谷幼稚園長へと転身し、ここにも学びの場を与えられました。現在、私は地域の高齢者に属し悪戦苦闘中ですが幸い元気です。

～八十路越え煩惱まるごとついてくる～ 合掌



「未来ある子どもたちの夢、  
そして挑戦を支える教育を目指して。」

学校法人田中学園 理事長

田中 賢介



プロフィール

学校法人田中学園理事長  
北海道日本ハムファイターズスペシャルアドバイザー  
NHK プロ野球解説者  
元北海道日本ハムファイターズ内野手

生年月日 1981年5月20日  
出生地 福岡県筑紫野市  
出身校 東福岡高校  
経歴 日本ハムファイターズドラフト2位入団(2000~2012)  
2006年からレギュラー定着5度のリーグ優勝2度の日本一  
MLB挑戦・サンフランシスコジャイアンツ(2013)  
北海道日本ハムファイターズ復帰(2015~2019)  
北海道日本ハムファイターズスペシャルアドバイザー就任(2020~)  
学校法人田中学園理事長就任(2020.8~)

タイトル ベストナイン二塁手部門6度(2006、2007、2009、2010、2012、2015)  
ゴールデングラブ賞5度(2006~10)

日米通算成績 出場試合 1,634 安打 1,507 打率 .282  
本塁打 48 打点 488 盗塁 205 犠打 179

2022年4月 学校法人田中学園 田中学園立命館慶祥小学校開校



北海道校友会 歴代会長一覧

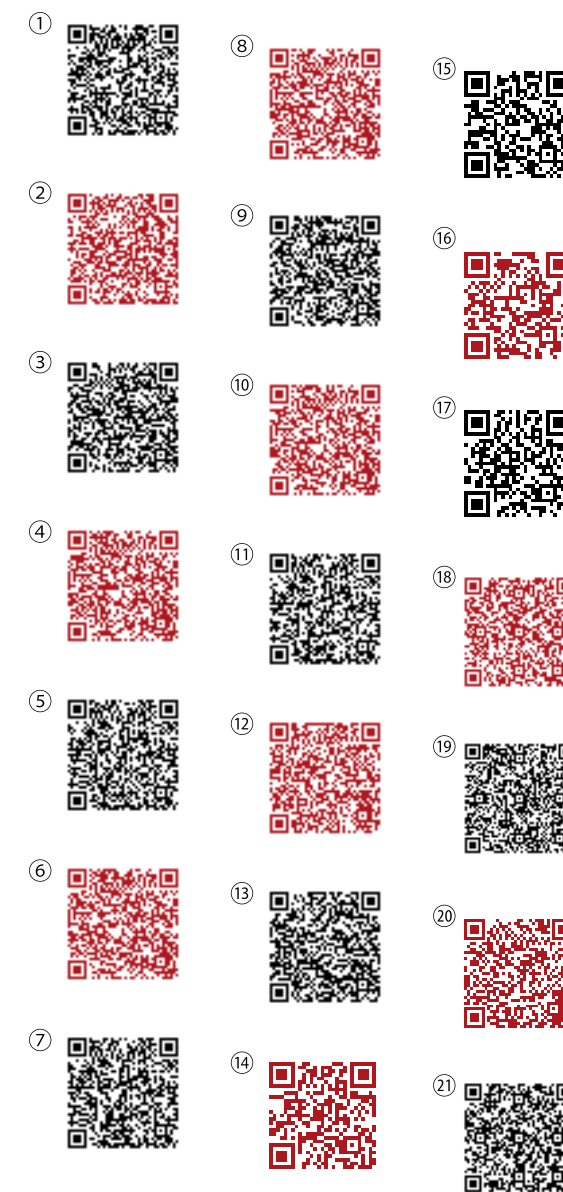
在任期間	会長名
① 1959~1963 (4)	白井 栄一 (シライエイイチ)
② 1963~1969 (6)	黒部 孚 (クロベマコト)
③ 1969~1974 (5)	生野 梅州 (イクノバイシュウ)
④ 1974~1975 (1)	松本 四郎 (マツモトシロウ)
⑤ 1975~1977 (2)	所 淳 (トコロアツシ)

在任期間	会長名
⑥ 1977~1987 (10)	原 一郎 (ハライチロウ)
⑦ 1987~2005 (18)	下村 一 (シモムラハジメ)
⑧ 2005~2014 (9)	廣長 明夫 (ヒロチョウアキオ)
⑨ 2014~2022 (8)	千廣 隆章 (チヒロタカアキ)
⑩ 2022~2024 (2)	城戸 寛 (キドヒロシ)

北海道校友会 総会開催一覧

年度	周年	開催日	場 所
1988		1989/2/11	札幌サンプラザ
1989		1990/2/11	札幌サンプラザ
1990		1991/3/24	センチュリーローヤルホテル
1991		1992/3/29	センチュリーローヤルホテル
1992		1993/1/31	札幌サンプラザ
1994	40周年	1994/6/25	センチュリーローヤルホテル
1995		1996/1/27	センチュリーローヤルホテル
1996		1997/1/25	札幌パークホテル
1997		1998/1/31	札幌パークホテル
1998		1999/1/30	札幌グランドホテル
1999		2000/1/29	札幌パークホテル
2000		2001/1/27	札幌パークホテル
2001		2002/1/26	札幌パークホテル ①
2002		2003/1/25	札幌パークホテル ②
2003		2004/1/31	札幌パークホテル ③
2004	50周年	2005/1/29	札幌パークホテル ④
2005		2006/1/28	札幌パークホテル ⑤
2006		2007/1/27	札幌パークホテル ⑥
2007		2008/1/26	札幌パークホテル ⑦
2008		2009/1/31	ホテルライフオー札幌 ⑧
2009		2010/1/30	ホテルライフオー札幌 ⑨
2010		2011/1/29	札幌パークホテル ⑩
2011		2012/1/28	ホテルライフオー札幌 ⑪
2012		2013/1/26	ルネッサンスサッポロホテル ⑫
2013		2014/1/25	京王プラザホテル ⑬
2014	60周年	2015/1/31	京王プラザホテル ⑭
2015		2016/1/30	札幌アспенホテル ⑮
2016		2017/1/28	ホテルライフオー札幌 ⑯
2017		2018/1/27	ホテルライフオー札幌 ⑰
2018		2019/1/26	ホテルライフオー札幌 ⑱
2019		2020/1/25	ホテルライフオー札幌 ⑲
2020		※年度締を3月末から12月末に変更したため、2020年度は2020/1/25開催とした	
2021		2021/6/1~6/29	書面開催
2022		2022/5/28	ACU-A 多目的ラウンジ ⑳
2023		2023/5/20	ホテルマイステイズ札幌アспен ㉑
2024	70周年	2024/6/29	ANA クラウンプラザホテル札幌

【校友会本部Webサイトへのリンク用QRコード】





令和6年度 北海道校友会 役員名簿

役職名	氏名	卒業・修了年度、学部	備考
名誉会長	廣長 明夫	昭35大・理工・土木	
相談役	千廣 隆章	昭53大・理工・土木	
	花高 了三	昭53大・文・人文	
会長	城戸 寛	昭55大・理工・土木	
副会長	浅利 修一	昭59大・理工・土木	(新任)
	竹中由里子	平10大・産社	(新任)
幹事長 (兼務会計幹事)	佐藤 恭美	昭59大・産社	
幹事	小林 真澄	昭57大・文・心理	
	吉本 泰一	平16大・経営・会経	
	上原 直樹	平17大・理工・環シス	
	石塚 慶如	平20院法科・専門・2年	
	阿部 洋介	平21大・法	
監査委員	牧野 孝夫	昭55大・経営	
サポーター (新設)	豊田竜太郎	平2大・文・地理	(新任)
	田原 咲世	平6院社会博前・応社	(新任)
	松岡 宏二	平10大・法	(新任)
	岡本 博憲	平15大・法	(新任)

設立70周年記念事業運営組織

設立70周年記念事業開催準備委員会名簿

顧問	千廣隆章、花高了三、牧野孝夫
委員長	城戸 寛
企画調整小委員会	浅利修一、竹中由里子
広報連絡小委員会	豊田竜太郎、田原咲世、吉本泰一、石塚慶如
会場運営小委員会	佐藤恭美、小林真澄、上原直樹、阿部洋介

協賛企業・団体・個人 一覧

特別広告

立命館慶祥中学校・高等学校  
北王ホールディングス株式会社

名刺広告

大越 高 花高 了三 藤井 慎一  
藤原 壽美 浅利 修一 土門 徹  
田中 正稔 佐藤 恭美 森谷 太郎  
城戸 寛 小林 真澄 石塚 慶如  
千廣 隆章 吉本 泰一 上原 直樹

企業・団体広告

田中学園立命館慶祥小学校  
立命館大学建設会北海道支部  
札幌市役所比叡会  
立命館慶祥会  
立命館大学東北海道校友会  
立命館大学青森県校友会  
立命館大学岩手県校友会  
立命館大学宮城県校友会  
立命館大学秋田県校友会  
立命館大学山形県校友会  
立命館大学福島県校友会

株式会社シー・イー・サービス  
勇昇印刷有限会社  
バイオマスリサーチ株式会社  
CTM 研究所 (城戸寛技術士事務所)  
北桜労働法務事務所  
おたすけスーパーマン  
ゆいと法律事務所  
株式会社恒栄工業  
札幌電気實業株式会社

Memories and future of Ritsumeikan



1964年(昭和39年) 広小路キャンパス正門

提供:立命館 史資料センター





# RITSUMEIKAN KEISHO

## JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL 2025

世界と  
未来の  
すぐ近く



立命館慶祥中学校・高等学校

## 祝 立命館大学北海道校友会設立70周年

### 北王ホールディングス株式会社

取締役会長 藤原 壽美 (昭和37年理工学部卒)

〒080-0037 帯広市西7条北1丁目11番地  
TEL (0155) 24-5670 FAX (0155) 22-5961

#### グループ会社

#### 北王コンサルタント株式会社

監査役 藤原 孟 (昭和44年理工学部卒)

帯広本社

〒080-0037 帯広市西7条北1丁目11番地  
TEL (0155) 26-3775 FAX (0155) 22-5961

幕別事業本部

〒089-0602 中川郡幕別町旭町85番地  
TEL (0155) 54-2341 FAX (0155) 54-2263

札幌支社

〒060-0010 札幌市中央区北10条西20丁目2番地1号  
TEL (011) 613-3033 FAX (011) 613-2722

釧路支店

〒085-0015 釧路市北大通14丁目1番JRビル3F  
TEL (0154) 25-5612 FAX (0154) 25-5835

足寄営業所

〒089-3716 足寄郡足寄町南6条7丁目13番地2  
TEL (0156) 25-5752 FAX (0156) 25-5752

#### 北王農林株式会社

常務取締役 藤原 昇 (平成20年法学部卒)

顧問 吉川 民之輔 (昭和44年理工学部卒)

〒089-0563 中川郡幕別町字千住235番地13  
TEL (0155) 55-5656 FAX (0155) 56-3456

#### 株式会社 北王

〒080-0037 帯広市西7条北1丁目11番地  
TEL (0155) 28-3100 FAX (0155) 28-3123



北王コンサルタント株式会社



北王コンサルタント札幌支社



北王農林(株) アスパラハウス  
51棟×500㎡=2万5,500㎡



それは我々が失敗し挑戦する  
姿を見せているからだ。



なぜ、田中学園の子どもたちは  
失敗を怖れないのか？

学校法人 田中学園  
田中学園立命館慶祥小学校

# 立命館大学北海道校友会 設立70周年おめでとうございます！

校友会の益々のご発展をご祈念いたします。

札幌市役所比叡会



祝 70 周年

## 立命館大学建設会北海道支部

- 顧問 廣長 明夫 (昭和 35 年理工学部土木工学科卒)
- 顧問 成田 眞五郎 (昭和 41 年理工学部土木工学科卒)
- 顧問 堀口 亘 (昭和 45 年理工学部土木工学科卒)
- 相談役 千廣 隆章 (昭和 53 年理工学部土木工学科卒)
- 相談役 鏡谷 定之 (昭和 54 年理工学部土木工学科卒)
- 相談役 城戸 寛 (昭和 55 年理工学部土木工学科卒)
- 支部長 浅利 修一 (昭和 59 年理工学部土木工学科卒)
- 副支部長 寿楽 和也 (平成元年理工学部土木工学科卒)
- 会計 山形 文孝 (昭和 59 年理工学部土木工学科卒)
- 幹事 上原 直樹 (平成 17 年理工学部環境システム工学科)



立命館慶祥会公式Facebookページ





# 祝 設立70周年



立命館大学北海道校友会

設立70周年おめでとうございます

城戸寛会長はじめ歴代校友の皆様の  
これまでのご功績に敬意を表しますと共に

貴校友会の今後ますますの  
ご発展を心よりお祈り申し上げます

立命館大学東北海道校友会 会長 本田公一

北海道校友会設立70周年おめでとうございます



岩手県校友会 会長 宮学 (S60 文・地理卒)

**祝**  
立命館大学北海道校友会  
設立70周年  
北海道新幹線延伸で深まる絆  
次世代へ

R Alumni HOKKAIDO

立命館大学青森県校友会 一同

立命館大学北海道校友会設立70周年 誠におめでとうございます

70年の歴史を積み上げられた北海道校友会の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます  
今後100周年に向けて益々のご発展をご祈念申し上げます

立命館大学宮城県校友会 会長 千田芳文

宮城県校友会の今年の活動予定をお知らせします

- 7月20日土曜日 宮城県校友会第46回総会 仙台ガーデンパレスで開催
- 10月27日土曜日 全日本大学女子駅伝(杜の都駅伝) 祝勝会開催



## 祝 北海道校友会設立70周年

設立70周年という節目を迎えるに当たり、心よりお祝い申し上げます。

貴会の益々のご発展を衷心より祈念申し上げます。

立命館大学秋田県校友会 会長 猿田 千代彦

### 追伸

昨年度、青森県で開催されたブロック会議は、直前の豪雨災害の影響により、急遽欠席せざるを得ませんでした。北海道・東北ブロックの校友の皆様より、沢山のお見舞いと励ましのお言葉を頂きました。

ここに深く御礼申し上げます。



## 祝 70 周年

北海道校友会設立70周年誠におめでとうございます。

貴会の益々のご隆盛を心よりご祈念申し上げます。

立命館大学山形県校友会 会長 角田祐喜男

### 追伸

来年2025年度北海道・東北ブロック会議は山形県で開催されます。多数の皆様のご出席をお待ちしております。



未来に続く仕事  
未来と結ぶ仕事  
未来を形にする仕事

## 株式会社 シー・イー・サービス

当社は、公共建設事業の企画・調査・設計を通して、安全・安心な社会基盤の整備・維持に貢献できるよう努力しています。

代表取締役会長 田中正稔 (昭和56年 経営学部卒)

代表取締役社長 清水文彦

〒062-0032 札幌市豊平区西岡2条8丁目5番27号  
TEL (011) 855-4440 FAX (011) 854-3231  
URL <https://www.ces.co.jp>



# 4

yusho  
printing

## 勇昇印刷有限公司

E-Mail/yusho@f1.octv.ne.jp

代表取締役 本田 公一

産業社会学部 1974年卒 東北北海道校友会

環境・調査研究・地域づくり

# Bird

Biomass research & development

## バイオマスリサーチ株式会社

代表取締役 菊池貞雄 (1981年産社)

本社：北海道帯広市東2条南4丁目10番地  
札幌支社・鹿児島支店・宮崎支店・仙台営業所・京都営業所

広大な北海道における「持続可能なまちづくり」の  
主要インフラとしての交通施策、基底となる防災・減災、  
そして、これらを支える建設産業を  
総合的な技術監理の視点からサポートします。

## CTM 研究所

Comprehensive Technical Management research institute

<https://ctm-research.com>

Mail : kido.hiroshi\_p.e.jp@icloud.com



城戸寛技術士事務所

代表 城戸 寛

技術士 (総合技術監理部門 / 建設部門)

APEC Engineer (Civil)

被災宅地危険度判定士

北海道防災教育アドバイザー

1級土木施工管理技士

厚生労働省出身

あらゆる労働問題のエキスパート

ほくおうろうどうほうむじむしょ  
北桜労働法務事務所

たはらさくよ  
社会保険労務士 田原 咲世



【92年文学部卒 / 94年大学院社会学修士卒】

株式会社北洋銀行 社外取締役

産業カウンセラー

〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目6  
第37山京ビル802号

TEL 011-807-7115 FAX 011-807-7116

mail sakura.info@amail.plala.or.jp



# 解体 引っ越し

何から手をつ  
けようかしら

私の後は住む  
人もいないし  
子供に迷惑か  
けたくないし  
全ておまか  
せください

施設に入居するので  
必要な物だけ運んであ  
とは処分したいけど

## 家財処分 ゴミ処分

コワーキングスペース  
ゆったりな湯川も

家財整理・終活・引越・解体  
便利屋オタスケスーパーマン **0138-59-1616**  
函館市湯川町3-3-26 畑野商店内

平成10年産社卒  
竹中由里子




北海道の給排水管更新工事、給排水衛生設備、  
空調換気、冷暖房設備のことなら

## 株式会社恒栄工業

経営理念  
私たちは、生活環境の向上を通じ社会に貢献するとともに、共に  
学び、技術と信用を高め、グループに携わる全ての人々が豊かさ  
を感じ得るよう、日々無限の可能性へ挑戦し続けます。

※株式会社恒栄工業はKOEIホールディングス株式会社のグループ会社です

取締役 上原 直樹

理工学部 環境システム工学科 平成17年卒業

- ・施設全体のエアコンの新設や更新をご検討の方
- ・管理会社や不動産会社で設備業者の選定にお悩みの方
- ・自社ビル・賃貸マンションオーナーや管理組合で設備についてお困りの方
- ・地域密着企業への就職や転職をお考えの方

当社HPのQRコードを  
ご確認ください




## ゆいと法律事務所

弁護士 石塚 慶如  
(2008年法務研究科修了)

弁護士 廣部 侑也  
(2015年法学部卒業)

〒064-0825  
札幌市中央区北5条西29丁目1-1  
宮の森グランドハイツ108  
電話:011-676-4558 mail info@yuito-law.com



北海道の電気設備のことなら

## 札幌電気実業株式会社

経営理念  
私たちは、生活環境の向上を通じ社会に貢献するとともに、共に  
学び、技術と信用を高め、グループに携わる全ての人々が豊かさ  
を感じ得るよう、日々無限の可能性へ挑戦し続けます。

※札幌電気実業株式会社はKOEIホールディングス株式会社のグループ会社です

代表取締役社長 上原 直樹

理工学部 環境システム工学科 平成17年卒業

- ・施設全体のLEDの新設や更新をご検討の方
- ・施設全体のキュービクルやエアコンの新設をご検討の方
- ・管理会社や不動産会社で電気設備工事業者の選定にお悩みの方
- ・地域密着企業への就職や転職をお考えの方

当社HPのQRコードを  
ご確認ください





**大越 高**

〒001-0027  
札幌市北区北27条西10丁目5-21  
TEL 011-727-4448  
E-mail: Takashi.ookoshi@jasmine.ocn.ne.jp

**北王ホールディングス株式会社**

取締役会長 **藤原 寿美**  
Fujiwara Yoshimi

〒080-0037 北海道帯広市西7条北1丁目11番地  
TEL 0155-24-5670 FAX 0155-22-5961

**db 北海土木工業株式会社**

代表取締役  
**千廣 隆章**

ISO9001 認証登録

〒002-8025  
札幌市北区篠路5条1丁目1番10号  
TEL 011-788-3051  
FAX 011-788-3061  
E-Mail chihiro@hokkaidoboku.co.jp

北海道公立学校  
スクールカウンセラー

**花高 了三**  
Hanataka Ryozo

〒099-3119  
北海道網走市字鱒浦3丁目7-2  
携帯電話 080-1886-6220

**Civil Engineering Services**

TANAKA Masatoshi  
代表取締役 会長 **田中 正稔**

**株式会社 シー・イー・サービス**

〒062-0032 札幌市豊平区西岡2条8丁目5-27  
代表(011)855-4440 FAX(011)854-3231  
<https://www.ces.co.jp/>

広大な北海道における「持続可能なまちづくり」の  
主要インフラとしての交通施設、基礎となる防災・減災、  
そして、これらを支える建設産業を  
総合的な技術管理の観点からサポートします。

**CTM 研究所 (城戸寛 技術士事務所)**  
Comprehensive Technical Management research institute

<https://ctm-research.com>  
Mail: kido.hiroshi\_p.e.jp@icloud.com

代表 **城戸 寛**  
Kido Hiroshi Pe-CPD  
技術士(総合技術管理/建設)  
APEC Engineer(Civil)  
1級土木施工管理技士

〒001-0902 札幌市北区新築2条12丁目16-2  
Tel:080-1891-5907 Fax:011-763-1844

**共和コンクリート工業株式会社**  
技術研究所 ISO/IEC17025 登録試験所

所長代理 **浅利 修一**  
技術士(建設部門)  
コンクリート診断士

E-mail: asari\_s@kyowa-concrete.co.jp  
〒061-1405 恵庭市戸磯385番地36  
TEL 0123-34-3366 FAX 0123-34-3369

本社/札幌市北区北8条西3丁目28番地 札幌エムプラザ11F  
TEL 011-736-0181  
東京本社/東京都豊島区南大塚3丁目10番10号 いちご南大塚ビル  
TEL 03-6907-3721

**R**  
RITSUMEIKAN

**R Alumni HOKKAIDO**

立命館大学 北海道校友会  
幹事長 **佐藤 恭美**  
Yasumi Sato  
(昭和59年 産業社会学部卒業)

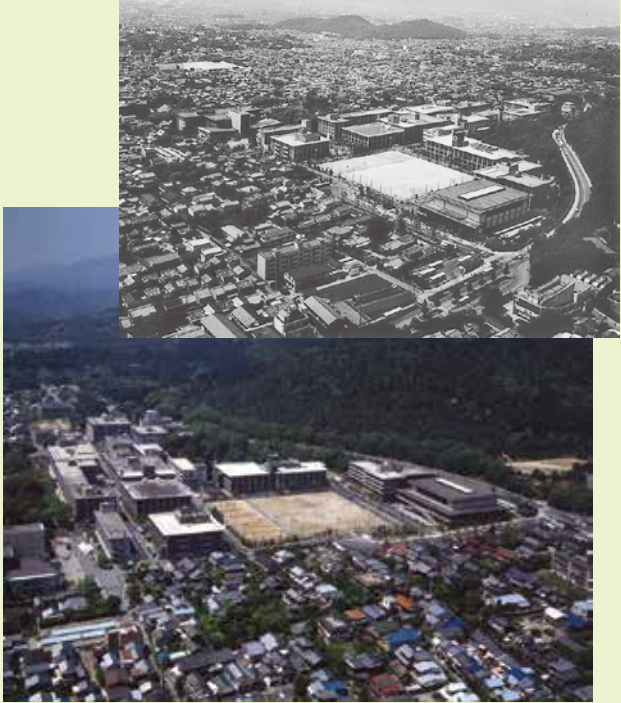
〒004-0682 札幌市清田区平岡公園東4丁目12番6号  
TEL 090-1644-7016  
E-mail: yasumi-zeiram1@docomo.ne.jp

北海道校友会  
ホームページ

Memories and future of Ritsumeikan



1965年(昭和40年)ごろの広小路キャンパス



1981年(昭和56年)移転後の衣笠キャンパス



1994年(平成6年)びわこくさつキャンパス

提供:立命館 史資料センター



2006年(平成18年)朱雀キャンパス



2015年(平成27年)大阪いばらきキャンパス



公認心理師  
保育士  
ピアノ奏者・指導者

**小林 真澄**  
MASUMI KOBAYASHI

〒005-0002  
札幌市南区澄川2条2丁目6番2-406号  
Tel&Fax 011-831-8233 Mobile 090-4877-6604



税理士  
**吉本 泰一**  
Taichi Yoshimoto

税理士事務所SKYパートナー  
〒062-0007 札幌市豊平区美園7条3丁目3番6号  
Mail yoshimoto@sky-tax.jp  
Tel 011-595-8732 Mobile 090-1649-1951




取締役  
設備事業部 部長  
住設事業部 部長  
一級管工事施工管理技士

**上原 直樹**  
NAOKI UEHARA

☎ 070-5288-3878  
✉ n-uehara@koei-icc.co.jp

株式会社 恒栄工業  
〒063-0802 札幌市西区二十四軒2条7丁目2-21 KLビル  
TEL(代)011-613-7000 FAX011-613-7500




ゆいと法律事務所

〒064-0825  
札幌市中央区北5条西29丁目1-1  
富の森グランドハイフ108号  
tel 011-676-4558  
fax 011-676-4559  
ishizuka@yuito-law.com  
www.yuito-law.com

弁護士  
**石塚 慶如**  
Yasuyuki Ishizuka




野村総合研究所

森谷 太郎  
部長  
DX基盤事業本部  
札幌ソリューション開発一部

Tel. 050-3176-5040 (部代表)  
E-mail: t-moriya@nri.co.jp  
https://www.nri.com

株式会社 野村総合研究所  
〒060-0005  
札幌市中央区北5条西5-2-5  
信金中央金庫ビル 11階



相続・不動産に関して  
何でも相談承ります

**アパマンショップ**  
www.apamanshop.com

本部 相続サポート課 部長 **土門 徹**  
上級相続支援コンサルタント / 宅地建物取引士  
1級ファイナンシャル・プランニング技能士  
賃貸不動産経営管理士 / 行政書士資格試験合格者

**sanko** 札幌相続サポートセンター三光不動産  
〒060-0809  
株式会社 札幌市北区北9条西2丁目12番1号 SANKO札幌駅前ビル  
三光不動産 TEL 011-558-3377 FAX 011-558-3500  
E-mail: sapporo-sanko@z-souzoku.com  
ホームページ: https://sapporo-sanko.z-souzoku.com/




札幌電気實業株式会社

代表取締役社長 **上原 直樹**

〒001-0029 札幌市北区北29条西13丁目1-15  
電話(代) (011) 726-0936  
FAX (011) 747-3992  
mail: uehara@sassin-denki.co.jp

行政書士  
ふじい事務所

特定行政書士  
ふじい しんいち  
**藤井 慎一**  
FUJII SHINICHI

〒060-0002  
札幌市中央区北2条西19丁目1-6-901  
携 帯: 090-3111-5545  
TEL: 011-676-8745  
FAX: 011-615-5275  
事務所: cleek1031@amail.plala.or.jp  
携 帯: cleeksf@gmail.com  
http://www.grics.co.jp/office/fujii/



Memories and future of Ritsumeikan



立命館慶祥中学校・高等学校 (北海道江別市)



立命館中学校・高等学校 (京都府長岡京市)



立命館宇治  
中学校・高等学校  
(京都府宇治市)



立命館守山中学校・高等学校  
(滋賀県守山市)



立命館小学校 (京都市北区)

提供:立命館 史資料センター



# 立命館大学北海道校友会会則

制定 昭和30年12月18日  
改正 昭和33年8月3日  
改正 昭和42年8月18日  
改正 昭和62年2月11日  
改正 平成11年1月30日  
改正 平成30年1月27日  
改正 令和2年1月25日

## 第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、立命館大学北海道校友会と称する。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦・交流を図りつつ、立命館大学校友会（以下「本校校友会」という。）が実施する事業に積極的に参加し、母校の発展に寄与することを目的とする。

(所在地)

第3条 本会の事務所は、会長が居住する又は指定する住所に置く。

(事業)

第4条 本会は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦・交流を図るための事業
- (2) 本校校友会及び各都道府県校友会との連携を図るための事業
- (3) 本校校友会等との連携による大学賛助のために必要な事業
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

## 第2章 会員

(構成員)

第5条 本会は、北海道に在住する立命館大学校友会、本会の趣旨に賛同する校友をもって会員とする。

(会費)

第6条 会員は、年会費2,000円を納入する。ただし、夫婦会員の配偶者の年会費は1,000円とする。

## 第3章 役員等

(役員)

第7条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長1名
- (2) 副会長若干名
- (3) 幹事長1名
- (4) 幹事若干名
- (5) 会計幹事1名
- (6) 監査委員2名

(任期)

第8条 役員は、その任命後2年目の事業年度に関する決算報告を承認する総会の終了時までとし、再任を妨げない。

(職務)

第9条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。
3. 幹事長は、会長の指示に基づき、本会の運営に当たる。
4. 幹事及び会計幹事は、会長の指示に基づき、本会の職務を分担する。
5. 監査委員は、会計等に関する事項を監査して、総会に報告する。

(相談役)

第10条 本会に、相談役を置くことができる。

2. 相談役は、会長が総会の同意を得て委嘱する。
3. 前項により委嘱された者の任期は、会長の在任期間とする。

## 第4章 会議

(総会)

第11条 本会は、年1回定時総会を開催し、必要に応じて臨時総会を開催するものとする。

(決議)

第12条 総会は、会長が招集し、議長となる。

2. 総会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
3. 総会の決議事項は、次の各号とする。
  - (1) 会長、副会長、幹事長、幹事、会計幹事及び監査委員の選任
  - (2) 会則の改廃
  - (3) 事業報告及び決算報告
  - (4) 事業計画及び予算
  - (5) その他会長が必要と認める事項

(役員会)

第13条 役員会は、総会への付議事項並びに本会の事業、業務及び運営に関する諸事項を審議し、決定する。

2. 役員会は、監査委員を除く役員により構成する。
3. 役員会は、会長が招集し議長となる。
4. 役員会は、構成員の過半数の出席によって成立する。
5. 役員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。6. 監査委員は、役員会に出席して意見を述べることができる。

## 第5章 事業年度・会計等

(事業年度)

第14条 本会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。

(経費)

第15条 本会の運営経費は、会員の年会費、本校校友会からの補助金、寄付金、その他の収入をもって充てる。

(会計処理)

第16条 本会の会計は、本校校友会における会計処理に準じて処理する。

## 第6章 その他（細則）

第17条 本会則に定めのない事項については、役員会において協議決定する。

附則

この会則は、令和2年1月25日から施行する。





# 立命館大学寮歌

作詞・作曲／不詳

(一九九一年三月 全寮廃止)

前口上

大路下鴨集い歩きし  
 雅人(みやびと)の春菜摘みつ  
 美しき賀茂の流れに  
 育てはぐくみし出町・南北寮  
 学びて思わざれば則ち暗く  
 思いて学ばざれば則ち危し  
 衣笠・吉田の山なみも  
 露に濡れて花と咲く

一、夕月淡く梨花(りか)白く

春宵(しゅんしょう)花の香(か)をこめて  
 都塵治(とじんおさ)まる一時(ひととき)や  
 眉(まゆ)若き子等相集(らあいつど)い  
 希望の光を一(いつ)にして

厚き四年(よとせ)を契(ちぎ)りたり  
 厚き四年(よとせ)を契(ちぎ)りたり

二、柴扉(さいひ)を排せば暁に

君は川流(せんりゅう)我は薪(まき)  
 他郷憂(たきょうう)しと云うなかれ  
 椎(しい)の葉蔭(かげ)に相倚りて  
 手をとり友と語らえば

春は四年に尽きぬべし  
 春は四年に尽きぬべし

三、秋陽落ちて野は寒く たどる帰り路(じ)暗くとも

我待つ寮の灯(ひ)は赤く  
 朔風(さくふう)天にどよむとも  
 来(く)る日思えばあかあかと

希望は燃ゆる胸の灯(ひ)や  
 希望は燃ゆる胸の灯(ひ)や

四、学びの道は遠けれど 暮るるに早き春の日や

春風秋雨巡(めぐ)り来て  
 今此の丘を去らんとす  
 ああ我が友よ我が丘よ  
 いつかえりみんな思い出ぞ  
 いつかえりみんな思い出ぞ

# 立命館大学応援歌

作詞／白井道造 作曲／高橋半

一、空はさながら青春の 胸の雄図の象(すがた)なり

溢るる力示すべく えんじの旗をなびかせて 堂々勝を争わん  
 グレーター立命 グレーター立命

二、練(ね)りて金鉄ゆるみなく 山をも抜かん力湧き

不動の勝利堅持して 伝統になわん雙(そう)の肩 いかで汚名わが享(う)けん  
 グレーター立命 グレーター立命

三、緑草ふるう喊(かん)声に がい袖一触鮮(しういつしよくあざ)やけき

圧観ひろく我が選手 迎うる相手色もなく 若き血汐に誇り満つ  
 グレーター立命 グレーター立命

四、心と身(からだ)を鍛え上げ 清き健児の火を吐きぬ

秋(とき)に放たん大ゲーム 「R」の手旗をうちふるい 雄たけびおくる応援団  
 グレーター立命 グレーター立命







## 生成AIを用いた70年後の札幌未来図

立命館大学北海道校友会設立70周年記念誌  
令和6年6月29日発行

編集 設立70周年記念事業開催準備委員会

発行 立命館大学北海道校友会

<https://alumni.ritsumei.jp/hokkaido/>